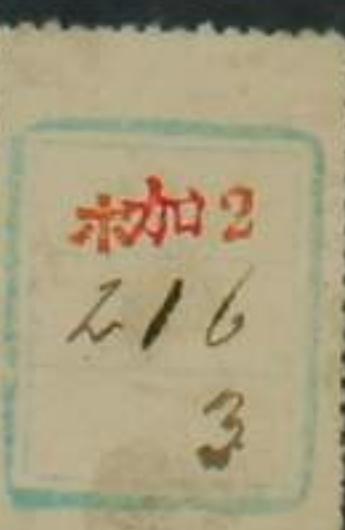


本朝世謠俗談

三



齊東野語卷之三

凡言部下

元服

漢書昭帝紀注。如淳曰。元服謂初冠加上服也。師古曰。如氏以為衣服之服。此說非。元首也。冠者。首之所著。故曰元服。

有識

モノシルコトアリトヨメリ。萬ニコ、ロヱテ。故實ヲレリスベシ。凡モノヲ有^シト云。俗禁中ノ公事ニツリコトヲ。善^シワキニラル。トイヘトモ。必シモシカルニアラス。

習禮

何ニテモ礼式アルコトヲ兼^シヨリ胥^ハレ^シ古スルヲ習^シ。ト云々。又物ニ滯^{カシ}コトヲレツライアルト云々。失^レ礼^ナリ。萬^シ礼儀ニ叶^ス。ハ進退周旋トコヲルコトナケレトモ其間ニソシバクノ失^レ礼^{アル}。

加2
216
3

明治三十一年十一月二日

平内姫^{モモ}子寄贈

故ナリ

慶幾

爾雅。庶幾。尚也。蹠云。尚謂心所希望也。俗語。慶幾。

希望ノ義ナリ

見解

字書解釋也。曉也。道理ヲミテサトルトコロヲ見解ト云。曾

目禮

太宰記

鈔。目路頭ニテ人ニ逢トキ。ニヤリテ礼容スルヲ。

目礼トカイヘドモ。目ノ字アレ。嘿札ナルヘンモノライハズシテ。ネラスルユヘニ如ヒ。イフナルベシ。今按。目礼トカクハヨキナリ。目送目遡ノ類ノコトレ。書叙指南曰。顧視其人。自嘗目礼焉。又遠見ノ間ノ目路ト云。

大格

札記ノ緬衣註。格。謂舊法也。俗大格ト云。大カタノ格

様法則ヲ云ナリ。鹽囊抄。物ノ分清ヲ云トキ。タイカク幾程ト云ハ片言ナリ。外。櫛ナルヘレコレハ物ノ圍。ノ。櫛ト云トニ。口エタルナリ。櫛ハ葬具ナリ。棺ニ對シテ云トキハ内。棺外櫛トモ云ベケレトモ。物ノ圍ノコトニハナリカタレ

勿射

下學集。射體。體三字皆同字。勿無也。勿休二字。即無正体義也。然倭俗書狀云。無勿休者。大失理。子細可レ思之。按。六書正譌。事物之物本只。勿字ナリ。後人加牛以別之。然トキハ物勿本。同字ナリ。俗語ノ勿休。即物休ナリ。人物ノスベヨキヲ。物体ノアルト云。君父ヲ蔑ミレ。神明ヲ侮等ハ人物ノ正休ニアラサルユヘニコレヲ。無物体ト云コト。却文理アルニ似タリ

勘當

君父ニ擯ヤミ件キラルコトヲ。勘當ト云。源氏行幸。御コウレ又カンダウハコナタサニトアリ。コウレハ考コウル事ナリ。勘當ト同義ナリ。中華書ニロル刑ヲ考問ト云。下學集目不孝ハ其子父母ノ命ニ隨順セザルナリ。然ニ倭俗不孝ニ二字ヲ勘當ノ義トス。其理ナキニ似タリ。

時宜

俗礼ヲ時宜ト云。曲礼曰。札後宜。又曰。礼時為大時宜。トモ玄ヘシ。又色代ヒナズメ或曰。代易也。人ヲ礼シテ。顔色ヲ変易スルハ敬ノ至ナリ。

會釋

心ニ會得シテ解釋スルナリ。

侘傺

字彙。侘傺失志貌。時ニアハス志ヲ失コトヲ。侘傺ト云ナリ。離騷。忳鬱邑余侘傺兮。俗書往來ニ。侘傺ノ字

ヲ用フ

了簡

字彙。曉解也。簡選也。道理ヲサトリエラブコトヲ。了簡ト云ナリ。往生要集。料簡トカケリ。ハカリエラフトヨムヘシ。

烏龍

下学集。烏龍二字共唐音也。烏龍者。竊取義。於平沙落雁。欵落雁者。乱雜之義也。又作胡乱。出處。憲ラスミタリニイフコトヲ。胡說亂道ト云。胡乱ト云コト。中華ノ書ニモスクナカラス。

無雙

ナラビナシトヨメリ。天下無双國土無双殿中無双江夏無双等ノ語。史漢ニ多シ。

沐浴

字書。沐濯髮也。浴洗身也。カミアライユアブルトヨメリ死

者生者共ニ用ヘシ。俗誤テ尾ヲ洗ラ。沐浴ト云。常ニ湯ヲヒク
ヲ。行水ト云。行水ハ屍ヲ洗水ナルヘシ。太藏一覽入滅品持妙
香水灌洗既已。行燈桃燈モ。稱呼カカリタルト云。前世久レ云
ツタフアントウハ安燈ナリ。チヤウチニハ張燈ナリ。或提燈字ヲ
用ヘシ。馬ラウコカヌニ止ト云。トムルヲ。動ト云。俗常ニ云コトナリ。

耻辱

心ニハヅルヲ。恥ト云。人ニハヅカレタル、ヲ辱ト云。四書蒙
引曰。恥由内生。辱自外至。智見辱。取辱可見辱之在
智知恥。不恥可見恥之在內。

吹噓

書言故事。同人ニ薦舉ラルコトヲ。借吹噓之力ト云

名利

莊子盜跖篇。子正為名我正為利。名利之實不順於

俗搆舉

字ヲ用フ

權柄

理不監於道。法華經有「人號曰求名貪着利養」

字彙權稱權柄。斧柄居人上者所執不可下移也。上ニ
凡人ヲ執權執柄ト云コトハ稱ニシテハ鎌ヲトリ斧斤ニシテハ柄
ヲトルコトク。天子ノ輔佐トシテ。下ニ移奪。サル義ナリ。本朝閑
白職ニ居人ヲ執柄ト云。執柄必一座。宣旨ヲ蒙ユヘニ。以
稱スルナリ。

規模

規ハ圓モノヲツクルウツハモノ。今ノブシニハレナリ。模ハ金ヲ鑄

ノ模空廊ナリ。皆其大綱ヲ以テイフコトアレトモ。俗語ノ規
模ハ諸人ノ目當トシテ。規矩模範トナルベキコトヲ云ナリ。

巧拙

俗物ニタクミナルヲ。巧者ト云。自稱シテ拙者ト云。タコ

ウヲ積ハ功劳字ナリ。龜雀ノコフラフルハ却字ナリ。

愚矇

文選楊子幼畫定下哀其愚矇註矇暗也。プロカラ

ラキヲハ愚鈍愚癡矇昧等同義ナリ。文盲ハ文字ニメレ
タル云下學子集文盲無背之義也。田舎俗罵人曰頑子。山
谷詩磨礪頑鈍仰此心

輕薄

威儀カロくレク徳ウスキモノ。輕薄者上云杜子美貧

交行絲々輕薄何湧數馬援書陷為天下輕薄子。

追從

下學集追從媚諂之義也。ライシタカフトヨメリ。人心ヲ
ムカヘテニアタリ後コトヲ面從逢迎ト云ナリ源氏帰木コノ

繼母ノアリサラアタラレキモノニ思テ追從シヨル

佞姦

韻會姦詐偽也。晋語與人之誦註偽善曰佞子ヂケ

ビトヨメリ尚書士人トカケリ閒居シテ不善ヲシレ人前ニテ

善ヲ偽ユヘニ面子ヂケヒト云ナリ論語集註佞口才也辯舌
明ナルモノハ智慧モアルユヘニ不佞ノ自謙辭ニ用フ姦與奸同

張本

書言故事曰顏為後地目張本アラカシメ後ノタメニ設

コトヲ張本ト云ナリ左傳杜預注ニタレ俗語ノ張本モ此義也今

曲繕

字書繕絲耑也其由トコロアリテタヘサルコト絲耑ヲ抽

コトクナレバ由繕ト云ナリ首楞嚴經其各命由繕○書物ノ序
ヲ繕也ト訓スルコトモ事理次第ヲテ叙アルコト絲ノ繕ヲ抽
スルカ如十六云ナリ序文ハ卷頭ニアルユヘニ俗物メシメラ序ト云

痘瘡ノ始ニ煩ノ序病ト云

破顏

釋尊青蓮自ラメグラシテ破顏微笑スルノコト經說

ニ所見十ニ詰錄等ニハ多云コトナリ俗喫コトヲ破顏ト云ナリ

目論

物

ノ

條

件

ヲ

許

論

スル

ア

自

論

ト

云

目

錄

モ

箇

條

ノ

記

錄

牛

リ

論

ヲ

口

ニ

ト

ヨム

ハ

燈

心

ネ

ト

ウ

シ

ミ

ト

カ

コ

ト

シ

ト

ノ

相

通

ス

○又

異

論

十

キ

コ

ト

フ

易

論

ト

云

源

氏

橋

姫

口

ナ

フ

物

ノ

用

ミ

ス

ハ

カ

口

ナ

フ

勿

論

ナ

リ

論

字

ロ

ニ

ト

モ

リ

ン

ト

モ

穿

鑿

ノ

學

ト

云

人

心

ニ

ミ

タ

リ

兩

說

何

ニ

テ

モ

キ

ユ

ル

ト

モ

リ

ン

ト

モ

議

論

穿

鑿

字

彙

彙

委

曲

入

也

鑿

ハ

穿

孔

也

道

理

其

儘

キ

コ

ヘ

侍

コトヲ

サ

マ

ク

了

簡

シ

テ

注

釋

ス

ギ

タル

ヲ

モ

穿

鑿

ノ

學

ト

云

ナ

リ

義理

世

ノ

常

談

ニ

義

理

ト

云

テ

ア

リ

理

義

ト

ア

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

草勾ニカクトキハ草ノ衰アラシトモ落ト云ヘシ。字彙注ニミヘタリ俗ヲチブルコトヲ零落スルト云。琵琶行門前零落鞍馬稀。元遺山詩常教零落ラカウライニラツバ在蒿業落魄モチブルヲ云。人ノ家居ラシメテ聚居トコロラ。村落屯落離落十上ヨウシナ俗事ノ騷動ナク。本所ニ安スルヲ落居スルト云。其所ニ安堵スル義義ナリ

法度 尚書大禹謨注法度。法則制度也。國禁ニカキラス大小事共ニ法則制度ハアルユヘニ。何モ通シテ法度ト云。○又越度居家必用注。越度謂閑不由門津不由濟者。

成敗

國ヲ治政道々成敗ト云。成トハ助成アシタスナリ。敗トハ覆敗カバセバナリ。中庸曰。裁者培ハサカシナラシメ之。傾者覆カバシ之。天ノ物ヲ生スル本ノ固者。雨露コレヲ滋ウツバシテサカシナラシメ。本ノ頃カタハモノハ。風雨コレヲ覆カバシス。其ハタケ滋培ハサカシモ。コレハ恩トスルニアラス其ハタケ顛覆カバシモ。ナレラ。害スルニアラス。皆理ノ必然ナリ。國ニ成敗アリモ猶天ノ物ニヲケルカ如ニ成トキハ恩ラアタヘ賞ヲホトコシ。大小高下品ニシタカイテ國中所ハ得已ニルナリ。敗トキハ所帶ヲ放家ハサウ破。刑罰程ハサウニ應シテ。萬民怨コキカラシムルナリ。成トイヘトモ貢負カタキノ沙汰ニアラス。敗トイヘ私ノ遺恨ニアラス。コレハ國家ノ成敗ト云ナリ。

放埒

下學集人不順法度如生馬放埒也。埒ハサウ馬埒ト云。放

ス放散ノ義トス。韻會晋王濟馬埒謂外作短垣繞之也。旦暮古ハ上ヨリ下ニ至ニテ。毎歲入トコロヲ分テ四トニ其三分コ用テ一分ヲアース。每羊如斯ナルトキハ三年六三分ヲ餘シテ。三ト一年ノ用ヲ足ス。コレヲ三年耕シテ。一年ノ食アリ。九年耕

シテ。三年ノ食アリト云ナリ。三十年ヲ通スハ半年ノ蓄アリ。山卑水濫ノ変アレトモ人ノクルニス。事ハ礼記ノ王制ニ出たり。俗家ヲ治ルニ僉約ナキモノ。無眞暮ト云。眞ハ暮ヲスカラス。暮ハ且ノ勘ナキ義ナリ。愚ノ甚キナリ。又見假借部。

表裏

表ハ外ナリ。裏ハ内ナリ。外面内心相違スル者。表裏者。

ト云中華書ニ表裏トアルハ。兩ナカラ相^互ニシテ離サル^多ト

リ。河圖洛書ノ表裏ヲナスカ如シ。俗語ト不同^多。

帶佩

身ニラブルモノ。皆帶佩ト云ヘ。倭俗太刀刀^ノ常^ノ帶

トスルユヘニ。太刀刀ノ恰合^ノ帶^ノ佩ト稱ス。

彼是

俗物ヲ頼コトヲ。彼是ト頼ト云ハカレコレ共ニ頼^ノ義ナリ。

塩^ノ裏^ノ抄^ノ自^ノ人^ヲ頼^ノシト頼^ト云ハ靡^ノ特^ノ字^{ナリ}千^ノ字^ノ文^ノ靡^ノ。

會議

居家必用。註謀^ノ於衆^ノ日議。又云^ノ會議。謂咸其定。

議也。書傳曰議。皆言衆人舉^ノ之也。モロノアツミリテ事ヲ^ノ正^ムハカル^タ。會議ト云。字彙^ノ金^ノ皆^ノ也。咸^ノ也。衆^ノ共^ノ言^ノ之也。議謀^ノ也。許^ム也。定^ム事^ノ之宜^事也。

和麻竹蓑

物ノ充滿^ノタレ^タ云見法華經。

書札

漢司馬相如傳注。師古曰。札木簡之薄小者也。時未多用紙。故給札以書。今紙^ヲ用^ムモ。書札ト云コトハ。故名^ヲ

改^ムナリ。簡編殺青^{セイ}ナト云カ如シ。

披露

字書^ノ披露^ノ開^{タケル}也。露^ム現^ム也。首楞嚴經生滅根元後^ノ披露

露

初心

支無學并其初心同末佛所

鍛鍊

俗初學ノ人ヲ初心ト云ナリ。首楞嚴經有無量辟

ナリ又鍛磨子リミカクナリ。韻府曰。路溫舒傳。猶陶冶鍛
鍊使之成熟鍛磨。臨濟錄。體究練磨。字書練鍊煥
三字同義ナリ。又調鍛水鍊皆鍛鍊ノ義也。徒然草。未
鍛ノ狐バケ損ケリ。俗詔未鍛ハ事ニ果断ナキコトヲ云。

渴仰

口乾水ヲ思カコトク。高山ヲハ仰カコトク。慕コトノ渴仰
上云。圖繞渴仰。方コミメクリテ慕ナリ。帰依渴仰ハ。設機シ
テタチカヘリ。慕ナリ。仰トハカリモ心。慕辯ナルユニ。俗書往

未ニ用フ

聊爾

詩箋云。聊且畧之辭。土佐日記。イサカナルコトモエセテ。

聊爾トガリソメニナスヲ云。爾助字ナリ。率爾俄爾。勿爾瞥

爾ノ類ノトシ論詰注。率爾輕遽之貌。ウチツケトヨメリ

草創

創平聲ニ讀トキ。金創字傷也。去聲ニ讀トキ。窮

辭退

創字始造也。字彙苟簡曰草草ト

作詞言詞之字。作辭又以辭為辭受之辭。又以辭為文

辭之辭。循用既久今不廢。昔ヨリ如此アヤマリキ允コニ

今皆通用スルナリ。辭退ハ。ワケズシテシリゾクヲ云

覲面

儀禮聘禮。君謂之覲。卿謂之面。爾雅釋詁。覲

見也。疏云。覲釤。覲者。皆下見上也。令只直面スルヲ云。

頂戴 法華經ニ出タリ

貧乏

札記月令註疏無財目貧親無ヲ窮ト云。轉無ヲ之ト
ち不續ヲ絶ト云。皇氏曰長無曰貧窮。轉無曰之絶。

左遷

史記周易傳索隱曰地道ハ尊右。右ハ尊シテ左。賤レ
故貶秩ヲ左遷ト云。貶秩トハ官祿ヲ削レトスナリ。韻會
曰人道尚右。右ヲ以テ貴トス。非正之術。曰左道。禮記王
制註左道謂邪道。譏官ヲ左遷ト云。又手足右ヲ便
トニ左ヲ僻トスルユヘニ。凡愚僥肯僻左ト云。策畫事宜

ニ適サルヲ。左計ト云。漢武帝律ヲ作テ。天子ヲ捨テ諸侯
ニ仕モノヲ。左官トス。又左驗ハ左右ニマリテ。此コトヲミタル

ト云證據ヲ云。出楊惲傳。俗ナルコトヲ左道ト云。礼ニ

タカヒタル職。左札ト云ナリ。左ヲ賤スルノ義ナリ。然トモ官途

ニ左ヲ上トスルハ古來ノ通義ナリ。右ヲ陰道トニ左ヲ陽道

トス。廟祀嘉慶ハ陽ノ道也。今神前ニ曳左繩端出天

道。左旋ノ義ヲ表スルヨシ。日本紀纂疏ニミヘタリ

血氣

論語ニ出タリ。太平記評判ニ高武藏守カ行迹

ヲ論シテ仁義ト。血氣トノ別ヲ云リ。中庸子路問強下

聖言詳ナレ。外ニ求ヘカラス。薰讀シテ心ニ識サハ。益氣ノ

剛ノ賴ヘカラス。德義ノ勇ノ。庶幾スヘキコトヲ知ヘシ

儀式 儀則法式ナリ。法華經ニ世諸佛說法之儀式俗

或作規式。又法律アリテ儀則タニキヲ。律儀ト云。多ク

佛書ニアリ

逐電

下學集。日本俗世話。晴跡義也。古文王孚淵頌追奔電。逐遺風。トハ馬ノ駿足ナルヲ云トモ人ノニゲハニリテ跡ナキヲモ逐電ト云ヘシ。

陰阻

韻書。山ノ嶺ヲ。險ト云。水ノ障也。阻ト云。若泛言トホ山水皆通用スヘレバ。太行ノ路。巫峽ノ水モ人心ノ反覆漫ニアル。

堪忍

佛經。娑婆世界ヲ。堪忍土ト云。言ハサ土剛強ニシ

テタヘシビカタキユヘナリ。事ニライテ名ヲ立タリ。唐張公諲九世同居。高宗ニ對テ。忍字百餘ヲタテニツリシコト。小學善行ニシルセリ。佛道ニモ忍タ以テ萬福ノ源トス。○又忍辱云コヒラ皆イハントスルトコロ多大意ナリ。長詞ヲ舉トテ下ノ詣ヲ畧スルトキニ云々。トカクナリ。

歷二

韻會云。爾雅註。歷ニ。數也。一々カソアクヘキコトヲ。歷ヤト云。楞嚴經。此歷ヤ地聽者。臨濟錄。是。你目前歷歷底。○後漢鄧隱傳。注。臣賢按。古書ニ。字當再讀者。即於上字之下。為小二字。今岐刑石鼓銘。凡重言者。皆為二字。

反古

或反故トモカケリ。物ヲカキチラレタル古紙。其多アツメルヲ。反故堆。故紙堆ト云ナリ。源順倭名十三。春秋沈麟士少清貧。以反古寫書。数千卷。源氏橋姫ニサヤカニ押シ。アハセタルホクトモノカビキ。故ヲ及トヨム五音通スルナリ。

風流

中華書局風流ト云ハ世ヲノカレ時ヲ候テ清潔ノ風各條

流アレラ云後漢高士傳注ニミヘタリ。或輕俊少才年ヲ捐コトモアリ。萬葉集風流士ヲタワレヲトヨメリ下學集風流

風情義ナリ。日本俗呼拘子物曰風流。

約諾

日本紀一曰即將巡天柱約束曰云古漢高帝紀注約

要也謂言契也。韻會言語要結戒令檢束皆曰約束字彙諾承領之辭也。又以誓言許入曰諾。ウケルヨメリ。或圖繞束縛ヲ約束ト云。要約ノ義ニアラス。

優劣

居家必用考功目居上曰優居下曰劣。韻會劣弱

也。从劣少廣韻鄙也。法華經志意下劣

木偶

人形ヲ偶人ト云ハ生木ヲ以テ人ノ形ニ對偶スハナリ史記

柔和忍辱ハ辱ヲシノフナ。他ノ怨ニ於テ終ニ返報セヌ柔和忍ニハラタキ憤コトナクシテ。他ヲ憤サルヲ云佛氏忍辱柔和ヲ以テ。ニ因縁トス。冰門一坊ノ義利此ニ因縁ニヨリテ證ス。

贓物

下學集贓物盜物也。按字彙贓吏受賄也。允非理

所得財賄皆曰贓。此註ニヨルトキハ盜物ニ限ベカラス。

粉骨

字彙粉米細末也。粉骨ハ骨ヲシタク義ナリ。萬葉

集處女等カ心ヲ胡粉トヨリ俗又勞スルコトヲ。骨折ト云下學集骨折得粉骨之義也。名義集無機子法雲詞苑志敬四句而折骨。

迂闊

一ゲテサカルトヨスリマハリトラキ義ナリ。前漢王吉傳云甚。

言迂闊又趙此孟子序ニ出たり

荒涼

韓退之詩家居率荒涼李賀詩獨出月荒涼

ス立三手

ハ令義ナリ俗過言ノ義用ノ平家物語荒涼ノモフニヤリ

徒然草

豐龍秋日短慮ノイタリキハメニテ荒涼ノ言

糾明

周禮小宰糾禁註糾猶割也察也疏曰糾舉其非事已發者依法斷割之事未發者審察之按糾典糾人罪アレハ其非ヲタシニアケテ事アラハルトキハ法令ニ仕テコ

レヲトハリ事アラハサレハ審ニ察スルヲ糾ト云糾明モ糾察

之義

云云

文選李陵答蘇武書註向曰云謂多言也前漢

蔡義

傳注師古曰云云衆詬又史記汲黯傳上曰吾欲云

殷來紀

井前漢公孫賀傳注云又偶人ヲ傀儡上可通鑑綱

目唐太宗貞觀七年削

工部尚書段璡綱階下貨實ニ詳ナリ

臨濟錄

首耳棚頭弄傀儡抽牽都未裏有人此詰玩ヘラ

俗又遊女ヲ傀儡ト云

垂迹

肇法師維摩經序曰非本無以垂迹悲迹無以顯本

本迹雖殊而不思議也

本朝古ヨリ三部神道アリ一日

宗源

神道中臣十部忌部コレヲ習傳宗源ト云コト久本

紀ニミタリ二日兩部習合

神道脣舌最澄高野空

海等佛法ヲ以テ神道ニ合胎藏金剛兩界ヲ陰陽配

シテ神佛一體水波ノ別トス本地垂迹ノ僻説コニ六ニニル

肇法師所謂本ニアラサレハ迹ヲ無コトナシ迹ニアラサ木本ヲ

顯コトナレト云ニ同シニ。日本迹縁起神道ナリ。蝴蝶浪日。三
部ノ外理當心地ト云モノアリ。世人知者希ナリ。○世ニ三社
ノ託宣上云モノアリ。傳称ス。地水ニ浮ヘリト。恠誕不経ナリ。然
トモ婦人小子ノ尊信スルトコロナルユヘ。宗源ノ神道ニ附會
シテ予嘗々カ抄解ツクル。其ノ中謀計雖為眼前之利
潤終當佛神ノ罰。正直雖非一直之依怙必蒙日
月之哀。ト云ハ聖德太子ノ作ナリ。沙石集卷六ニミヘタリ。
其ニモ八耳ノ詔ニヤ。或曰ト部兼豊ノ擬作ナリ又平祝所
傳ニ。六根清淨拔アリ。水波ノ邪說ヨリ出タリ法華經曰。
眼根清淨耳。鼻舌身意根清淨得是六根清淨楞嚴經
經六根解除萬葉ニ。解除ヌハライトヨメリ

冥加

神明ノ加護ヲ云。或曰冥トハ幽暗ノ義ナリ。冥慮冥
感等皆同幽暗ノ地。他人ハ未及知。神ノ格度ヘカラス已
陰徳ノ必其報アル。冥加ト云ナリ。神代口決。天照太神
託宣曰。冥ミタマ。加留仁正仁直ミタマナカニタマ。奈留於以天本登壽。

愛敬

俗語ノ愛敬ハ佛者ノ言ニ本ケリ。儒所謂愛ハ仁ノ
端ナリ。敬ハ禮ノ端ナリ。皆ノレカ天德ノ發スル所ニシテ外ニ
徇ニアラフス愛敬ノ立コト。親ヨリハシマリテ家ニ示トヨミ國ニ
名リ天下ニ達ス。木ノ一本ニシテ千枝萬葉トナリ。水ノ源
ニシテ千流萬派トナルカ如シ我。親ヲ愛セシテ他人ヲ愛
シ我。親ヲ敬ロスシテ他人ヲ敬スル。水流ノ源ヲテ進枝
葉木ヲナシテ榮ニ均シ必其理ナシ。強テスルハ憮然也。

悖礼ナリ。佛氏說トヨロハ外ニ徇^{スル}テ已ニ不永^ス三十二相^ト。今種
好^ハ皆愛敬^スノ相^トケリ。愚ニヨヘリモノハ愛敬^スノ祭^{アルニ至ル}。
已賢德アラハ人モ^タ畏^ステ愛シ。狎^テ敬スヘシ己不賢アラハ
衆人ノ愛敬心^ハメキコトナリ。何コレ^ラ觀音ニイイリ。愛染^ニ
求シヤ其教所モ四大ヲ假合^{ケテ}五倫ヲ滅絶^ス。物ヲ愛^スソ
差等^レナク。親ヲ見コト路人ニ均シ恩ヲ棄^テ無^カ入^ル。真實
ノ報恩者トス。愛敬誰^ニ向^テハシメ^ス家國天下。何ヲ^カ先^{ニセシム}。
甚者^ハ禽獸ヲサシテ父母ノ依託^{トス}。彼六趣^{四生輪廻}報心^ノ
ノ説ヨリ云トモ親^ス劣^ムル^ト無^甚沙石集ニ載^ス。美州ノ
遠山^上去所^ノ百姓カ妻夢^ニ亡^カ溺^キタリテ。明日地頭ノ狩^ニ
我命助^カタシ。此家ニ逃^ハ入コトアラハカクシテ^助タ^ハ我^昔官^官
シイタリシ。今モ^シレニシタミ^ト詰トミテ。アハレニ思^{ホトニ次}
日地頭狩シケル^ニ。旌^ケ家内^ハ飛^{イリ}ス夫^ハ他行^シケレハ
妻夢^ニミツルコトヲ思^{アハセテ}。難^キ釜^中ニカクシヌ其夜夫^カ
リケレハ。妻^{シカク}トカタリ。難^ヲ取出^シテミシハ。夢^ニタカハス片目^シ
シイタリ。ホトニ妻^ハ啼^ケリ。夫^云允^ハ實^ニモ父ニテヲハサウ
ズ。生^リシトキモ自^ノカタハシク^ヲハセシガタガハヌコトノ哀^{サヨ}親^子ノ契^ナ。父ノ慈悲^ニ享^ニスハヤマトテコソラハシツラメト云^テ。子^チ秘^シテ^ナリ。妻^{アリニ}心^{ウカ}リ^ケハヤカテ^家ヲ突出^テ。地頭^ニ訴^ケハ逆罪^者ナリ^{トテ}境^ヲ追^コサレケリ。我道ヨリ^{カタ}生^{ヤシテ}マス。其理我ニアリテ。同氣接續^{スルコト}未^ノ

墓ニ残カ如ニ既去ノ氣、タカリテ、横行堅目ノ軀壳託
ルコトアラニヤ。豈夫天地先祖ノ遺體ヨリ相續シタヘル又母
ノ身ヲ妻カ妄夢ニカセテ。禽獸トスペケニヤナギ殺シテ愚
婦ノ迷ヲ明スヘシ。遠山ノ農夫コノコロアス可ナリ。若則口
腹ノ慾ノミナスハ即不可ナリ。地頭ハ逆罪ヲ以テコトヨリ画
住、書ニ筆ス。邪說ノ人ハコト隅漱スルコト加此。

崩御

太子ノコトニ御ノ字ヲ用コトハ、四海ヲ統御スニ義ナリ。禮
記曲礼曰、太子死曰崩。謗疾曰薨。太夫曰卒。士曰不祿。庶人曰
死。故則死之五等ナリ。太子ハ尊シテ民上ニアリ。崩墮カ如札
記集說註疏春秋天主崩下ノ殯梁ニミヘタリ。又太子崩スルヲ大
暇登天ハ素問ニアリ。殂落ハ尚書ニミヘタリ。又太子崩スルヲ大
行ト云。晏駕ハ前漢天文志注ニ詳ナリ。又有德ノ人ノ死ニ仙
遊ト云。捐館ハ史記蘇秦傳ニ出タリ。遠行逝去皆死ナリ。属
纊札記喪記ニアリ。易簣ハ曾子ノ故事ナリ。檀弓ニアリ下
世モ死ナリ。卑世ハ世ヲハマウスルナリ。物故ハ前漢蘇武傳ニ出タ
リ。顏師古註ニ詳ナリ。釋氏要覽ニ曰。釋氏死謂涅槃圓寂帰
真。帰寂滅度遷化順世也。一義也。他界ト云コト。近代常ニイ
父東鑑十五。猶毛三郎重成妻於武藏國他界ス。

難言不測反テ度々奉聞ニ送ストイヘ凡其理ヲトケス送
念佛テスノカニナリキタトハ火ヲケサント欲ノ薪ヲ火中ニテ
ヒハ火イヨク盛^{サシテ}ルガコトク大海ヲ埋^{マサニ}ト欲ソ水ヲ入ハ海水ミ
くフカキガコトシト^スリ

○或^ルトキ月輪禪定殿下空上人ニ高命^{カウメイ}シテ玉ハク對面^{イミ}コトニ念

佛ノ去門意ニヅカニ聽^{カウミ}主ニ^{シテ}我性愚鈍^{ヤク}ヒバ即施即廢

